



令和3年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

田野中学校区 令和3年10月4日(月)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

◆令和3年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『将来、住み続けたいと思う魅力的なまちづくり』

12年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。平成30年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 平成27年 403,895人 ⇒ 令和47年 301,809人 (25.3%減)
- ・田野地域自治区の人口推移 平成27年 11,147人 ⇒ 令和47年 7,401人 (33.6%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています。

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・田野中学校区での活動事例・・・田野しっちゃんが祭り、農業体験、寺子屋事業 等



▲ 田野中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

◆ フリートーク

● トーク参加者からの意見

- ・田野の魅力として、食育の面でもプラス。田野にはおいしいものがたくさんある。
- ・子どもは気付かないかもしれないけど、田野はすごく住みやすい。また、体育館や運動公園、武道館など、スポーツができる環境が整っている。
- ・田野の人は温かい。企業、農業に強みがある。
- ・田野の人達は一生懸命。親があれこれやるから、それを見た子ども達も上手にやれる。後世に繋いでいけるようなことができればよいと思う。
- ・子ども達が安心安全で過ごせる環境を作るのが親の役割。
- ・田野の魅力を発信する方法として、修学旅行の誘致を行えば良いと思う。
- ・田野には日本農業遺産がある等、他の地域に誇れるところに住んでいることを子ども達に伝えたい。



● 中学生からの意見

- ・田野地域の課題として、小児科医、働く場所が少ないと思う。
- ・田野地域の課題として、公共施設（集団で利用できる図書館や公民館の学習スペース）が少ない。
- ・交通網（電車、バスの便数）が少ないので増やしてほしい。
- ・田野の魅力として、周りが山に囲まれており、災害も少ない。災害に強いまちをPRすれば、もっと田野に住む人が増えるのではないかな。
- ・田野に貢献したらポイントを与えたり、特産品をプレゼントするなどすれば、若者も住み続けたいと思うのではないかな。
- ・田野に他の街の人を呼び込むための取り組みとして、ウォークラリーや食べ歩きで田野の魅力を発信していければよいと思う。
- ・祭りやイベントの活性化させれば、人が集まってきて、その後ごみ拾い大会など行えば、地域での関わり合いがもっと増えるのではないかな。

● 傍聴者からの意見（アンケートより）

- ・田野は若者の目で見ると物足りないと思いますが、10年後20年後に田野の良さに気付いてUターンしてほしいと思います。
- ・田野が災害が少ないこと、アクセスの良さをアピールできたら良いなと思う。
- ・子ども達の素晴らしい夢に感動した。地域一体となって子供の夢をかなえたいと思う。魅力ある町づくりに貢献できたらと感じた。

● 市長からの回答、感想

- ・田野地域は、継続した人づくり、街づくりができて印象を受けた。地域がまとまれば、行政もバックアップできるので、頑張っていきたい。
- ・ここだけしかないもの（大根やぐら、鰐塚山テレビ塔等）はアピールになるのでそれらをもっと活かした活動、イベントを行ってほしい。
- ・どんどん役所（総合支所）を使って、まちづくりを進めてほしい。
- ・生徒の皆さんには、ぜひたくさん勉強して、最終的には宮崎に帰ってきて活躍してほしい。今後も田野地域が発展していくことを願っている。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室
TEL 21-1705
FAX 29-6547

